

市民と市長のタウンミーティング（要旨の報告）

日 時：令和7年7月21日（月・祝） 10時00分～11時30分

場 所：渋谷学習センター305会議室

テ ー マ：市政全般

参加人数：9人

出席者：古谷田市長、総合政策課長、マーケティング課長・広聴係3名

タウンミーティングの概要、昨年度の意見に対するフィードバックを説明後、参加者から意見聴取。

【意見】

- ・ 災害について、私の中であるが、Aランクを南海トラフ地震や首都直下型地震、富士山の噴火、他国からの武力攻撃、Bランクをその他の地震、台風、大雨と分けて考えている。
- ・ Bランクについては、市役所や自治会、自主防災会などが中心になったマニュアル整備や防災に対する心構えがしっかりしているが、問題となるのはAランクである。
- ・ J-ALE RTが発令された場合、どう対処すればよいか分かっている市民はほとんどないと感じている。
- ・ 世界情勢が悪化するなかで、日本もいつ武力攻撃を受けるか分からない状況であるため、一時緊急避難所の設定について、自然災害の避難所と同じレベルで行政や自治会でも考えていかなければならぬと考える。
- ・ 東京都心は地下街や地下鉄を一時緊急避難所にしているので、大和市も地下施設を活用するべきである。
- ・ 住宅についても、6畳ほどのスペースであれば50万円ほどで施工できるので新築やリフォームのタイミングで耐震シェルターや耐震ルームの導入補助金があるとよいのではないか。

【市長】

- ・ 地震、火山の対策は大和市地域防災計画、武力攻撃などの対策は大和市国民保護計画で総合的な指針等を定めており、こういった計画に基づいて各種対策や訓練を実施している。
- ・ 富士山の噴火で想定されるのは火山灰による被害であるが、具体的な対策が進んでいないのが実情なので、国や県の動向等も把握しながら対策を検討していきたいと考えている。
- ・ 熊本地震後、ボランティア活動した時に、阿蘇山の噴火で降り積もった火山灰で大変苦労した経験があり、火山灰対策の必要性を強く感じている。
- ・ また、シェルターの整備や地下施設の有効活用という点では、韓国に大きく後れを取っていると感じている。
- ・ 2027年に瀬谷で開催される横浜国際園芸博覧会に向けて、横浜市は新た

な交通を通す地下道を計画している。

- ・国費も入れて整備する計画となっており、武力攻撃などの緊急時の避難先として活用する可能性もあるので、連携できるかその可能性を探っていきたい。
- ・大和市内の地下施設はそれほど多くはないが、既存施設を一時的なシェルターとして活用できるか、こちらも可能性を探っていく。

【意見】

- ・田中4号公園は開設して50年が経過した。
- ・公園に大きな桜の木があるが、老木化していて強い雨風の後は、かなりの数の枝葉が落ちている。
- ・道路側にも枝が伸びており、車や人がそれを避けている状態であり、一部は電線に触れているので、剪定をお願いしたい。
- ・また、田中4号公園の引地川側にある水道について、水道メーターのボックスだけがある状態なので、蛇口を設置して使えるようにするか、ボックスを撤去するか、どちらかにするべきではないか。
- ・スタンドパイプについて、市内各所に設置されており消火資機材として有効だと思うが、消火栓の位置が分からなければ意味がないので、位置を明示するなど何らかの工夫をしてほしい。
- ・先日、保健福祉センターでAED講習会を受けて感じたのが、市内に配備されているAEDについて、夜間閉鎖している場所に配備しても使えないのではないか。
- ・川崎市ではコンビニにAEDを配備していると新聞に掲載されていた。
- ・こういうことはどんどん真似するべきなので、大和市でもやってみてほしい。

【市長】

- ・田中4号公園については、開設当初に水道の設置を予定していたと思われるが、何らかの事情で設置がなされていない状態となっている。
- ・公園の機能として考え、水道の設置について可否を検討する。
- ・公園の樹木は順次剪定しており、ご指摘の樹木については、関係課に情報を伝える。
- ・スタンドパイプについては、保管用ボックスの中に、そこから近い消火栓を明記した地図を収納している。
- ・このことが知られていないこと、災害時の緊迫した状態を考慮すると、もっと分かりやすくする方法を検討してみたい。
- ・AEDについては、大和市も協力いただけるコンビニに設置しており、IKOZAの近くでは高座渋谷駅西口のセブンイレブンに協力いただいている。
- ・コンビニはすべての店舗ではないので、協力いただける店舗を増やしていくように努める。
- ・また、学校に設置しているAEDはできるだけ校舎内から校門付近などに設置するように改善している。

【意見】

- ・ 2歳の子育て中で、保育園になかなか通らない状況である。
- ・ 保育園を増やすか、一時保育の利用枠を増やしてほしい。
- ・ 現在、一時保育を利用しているが、同じ曜日、同じ時間帯で利用できないため継続的に働くことができない。
- ・ 来年3歳になるので、保育コンシェルジュに相談したところ、3歳児は非常に難しい状況とのことであった。
- ・ 大和市は子育て王国を掲げているが、その名に見合っていない。
- ・ 幼稚園が合わない子もいるので、保育園を増やしてほしい。

【市長】

- ・ 大和市内の保育園は10年前に30園だったのが、現在92園まで増えている。
- ・ 予算も今年度は約108億円まで増えており、来年度は約110億円が必要になる見込みである。
- ・ 保育園は増えたのだが、保育士不足や定員割れしている園もある。
- ・ 幼稚園も定員割れを起こしている園もあり、これ以上、保育園を増やさないでほしいという声もある。
- ・ 保育の需要はとても高いため、保育コンシェルジュが相談を受けて、情報提供や案内を行っている。
- ・ 全国的に保育士が不足しており、保育士の質の低下も懸念される。
- ・ この状況に多くの地方自治体が悩まされており、市が単独で予算措置していくことも限界があるため、国や県に強く訴えていく。

【意見】

- ・ 学校に行けない、所謂グレーゾーンの子を育てている。
- ・ 現在、小学2年生で、主に母親が付きっきりの生活となっている。
- ・ 女性の社会進出が広がっているというが、こういった家庭の場合、社会進出したくても働くことができない。
- ・ 子どもの居場所を探すために市に相談しているが、施設があっても週に1回ということが多く、その他の日は親が付きっきりで働けない。
- ・ 一昨年、「子育て王国」を掲げる大和市に魅力を感じて横浜から引っ越ししてきたのだが、生活してみたら何の支援もないで対策を考えてほしい。
- ・ 公共交通について、中央林間周辺は民営バス路線がない代わりに、コミュニティバスが走っているが、便数、乗車人数共に少ない。
- ・ やまとんG.O.については、お年寄りがバス停で長い間待っていても、満員で乗れないことが多い。
- ・ とても可哀想なので、コミュニティバスを充実させてほしい。
- ・ 公園の設備について、老朽化遊具が撤去したまま放置されていることが多い。
- ・ 近隣の幼稚園、保育園、学童など使いたい人は多い。
- ・ 公園以外の遊び場はないので、公園の整備をお願いする。

【市長】

- ・ 各学校において、発達の状態等に応じた支援を行っている。
- ・ 全国的に教員が不足しており、大和市の学校も例外ではない。
- ・ 教員に対するネガティブなイメージがあるのか、若年世代の成り手が不足しているので、定年された先生にお声がけして、引き続き働いてもらっている状況である。
- ・ 特別支援教育ヘルパー、不登校児童支援員・不登校生徒支援員などの支援もしているが、資格が必要というハードルもあるので、有資格者でなくても対応できるようにすることも含め、人手を確保するよう神奈川県に求めている。
- ・ 教員の人手不足は、国や県が対応していくべき問題であるため、引き続き、国や県に要請していく。
- ・ コミュニティバスについては、地域の人口や利用率を踏まえて、調整をしていきたい。
- ・ 公園遊具については、市の財政が厳しいこともあり、ご指摘のような状況があるので、まずは財政の健全化に取り組んでいく。

【意見】

- ・ 市ホームページに市民の掲示板があるが、なかなか辿り着けない。
- ・ 市民の掲示板はサークル会員募集や各種イベントを紹介してもらえるためとてもよいページであるが、閲覧しにくいなら意味がない。
- ・ 誰でも簡単に閲覧できるようにしてほしい。
- ・ 心身障害者医療費助成制度の対象範囲を広げてほしい。
- ・ このことは議会請願もしており、家族の念願である。

【市長】

- ・ 「市民の掲示板」は、やまとニュースに掲載していたが、発行を終了するにあたりホームページに移行した。
- ・ ひと目でわかる、簡単にアクセスできるように指示を出しているが、さらなる改善が必要であるため、あらためて指示する。
- ・ 心の健康は誰にでも起こり得るもので、市長になる前から政治活動の柱のひとつとしてできている。
- ・ 心身障害者医療費助成制度の拡充に関しては、市が単独で対応することが難しいため、国に対して全国一律の制度として実施するよう要望している。
- ・ 市の財政状況が厳しい中ではあるが、地域で自分らしく生活していくための支援として、今年度はこもりびとやそのご家族の常設の居場所を設置した。
- ・ 市としてできることは限られているが、今後も取り組んでいく。

【意見】

- ・ 柳橋自治会では盆踊り大会など色々なイベントを行っており、地域のコミュニケーションが図られている。

- ・ こういったイベントに対して、市から補助金を出してもらえると、自治会活動が広がってコミュニケーションが活性化し、市内の他の自治会と連携したイベントなど、広範囲のコミュニケーションにつながっていくと思う。
- ・ 以前、待機児童ゼロというのを大きく見せていたと思うが、現在の待機児童の状況について聞かせてほしい。

【市長】

- ・ 自治会に関して、私は宝だと思っている。
- ・ 災害時に略奪や暴動が起きず、秩序が保たれ助け合えるのは、自治会を中心とした地域のつながりによるものである。
- ・ 今年度は「地域コミュニティ活動支援補助金」という制度を創設した。
- ・ この補助金は自治会活動を支援する7つのメニューがあり、自治会運営に必要な経費を支援する、自治会加入世帯数に応じた「自治会基本運営補助金」、自治会エリア内住民を対象とした地域全体に対して行う、防災、交通安全、環境、福祉、防犯活動などを支援する「人口割補助金」など、自治会の規模や活動内容に応じた支援を始めたところである。
- ・ これからは福祉の分野も地域の力が非常に重要なと考えており、地域住民が主体となる持続可能な地域活動を支援していく。
- ・ 待機児童について、前市長時代は待機児童ゼロを前面に押し出していたが、あくまで4月1日現在の数字である。
- ・ 私が市長に就任してからは、より現実的に待機児童の状況をお知らせするように指示している。
- ・ 保育に関しては、量より質が大切であり、お子様、保護者に寄り添って対応している。
- ・ 令和7年4月時点での待機児童数は7人である。
- ・ 先ほどもお伝えしたとおり、保育の需要はとても高いため、保育コンシェルジュが相談を受けて、情報提供や案内を行っている。
- ・ 今後は既存施設を活用した保育の受け入れなど、よりよい形にもっていけるようにしたい。

【意見】

- ・ ゆとりの森について何点か要望する。
- ・ 園内の照明について、綾瀬市側と比べると非常に暗いので明るくしてほしい。
- ・ 芝生グラウンド南側のトイレについて、午前9時から午後5時まで、今の時期は少し長く午後6時まで使えるが、使えない時間帯が長すぎる。
- ・ ゆとりの森で早朝ラジオ体操をしているが、トイレが使えず困っている人が多いので24時間使えるようにしてほしい。
- ・ 芝生グラウンド南側の自動販売機は建物の中にあるため、使えない時間帯があるのは自動販売機の意味がないと思う。
- ・ 綾瀬市側はミストが増設されたので、大和市も増設してほしい。
- ・ 綾瀬市との境界にあった柵を撤去したことは感謝している。

【市長】

- ・ ゆとりの森やその周辺が暗いというのは「市長への手紙」でも意見をいたしており、綾瀬市側が明るい状況も現場で見て承知している。
- ・ 暗いことによる危険は防止しなければならないので、少しずつにはなるが改善していかなければならないと考えている。
- ・ 園内の立ち入りに時間制限はないため、住み着いてしまうことなどを防ぐため、トイレや自動販売機などの施設は管理上使えない時間帯を設けている。
- ・ 使える時間帯を増やすか、管理の状況を確認した上で、その可否について検討する。
- ・ 暑さ対策としてのミストも、導入の可否を検討してみたい。
- ・ ゆとりの森に限らず前市長時代に整備された施設については、私からすると無用なものやルールがあつたり、反対に必要なものがない場合もあるので、都度、状況を確認しながら改善している。

【意見】

- ・ 中学生と小学生の子どもがいる。
- ・ 5月19日に連絡システム「すぐーる」で皆出席廃止の通知があった。
- ・ 中学生の息子は1年生から皆出席を目指して頑張っているので、社会でも無遅刻無欠席無早退が評価されることを伝えて励ましてきた。
- ・ そういう子もいるのに、紙1枚で廃止というのはあまりにも酷い。
- ・ 息子は、自分の代は皆勤賞をもらえるのに、後輩はもらえないことが心苦しいと言っている。
- ・ 廃止理由として、「国が不登校児童生徒への支援として、学校に登校するという結果のみを目標とするものではないとしているほか、休むことへの社会意識の変化等を受けて、教育委員会といたしましては、皆出席の表彰制度を維持することは、今の子どもたちを取り巻く教育環境にそぐわない」とあつた。
- ・ 財源が理由であれば諦めもできたのだが、不登校支援を理由としていたところに引っかかっている。
- ・ 小学生の下の子が不登校で半年ほど学校に付き添っている。
- ・ 息子が通う小学校は、雨の日にコーディネーターの先生が迎えに来てくださったり、家を出られるまで1時間かかっても待っていてくれるなど、とても手厚い支援をしていただいている、特別教室に通えるようになった。
- ・ なぜ、普通に通っている子の目標をなくしてしまうのか。
- ・ そこを混ぜてしまうのではなく、分けて考えるべきである。
- ・ 下の子については、不登校になった時点で皆出席は頭から抜けていて、この子が学校に行く目標は別のところにある。
- ・ 子育て王国ということで、すべてを分け隔てなくという視点は理解できない。
- ・ 廃止する理由を聞かせてほしい。

【市長】

- ・この件に関しては、教育長、教育部長から説明を受けています。
- ・ご提示いただいた理由のほか、コロナ禍を経て体調不良がある場合は療養のため欠席し感染症拡大を防ぐ考えが浸透したこと、四季の短縮化によって子どもや家庭の負担が増えていることも挙げられていました。
- ・これまでのようだに大々的に全校児童生徒の前で表彰はやらなくても、校長室などで個別に表彰することなど、子どもたちの励みになる代替手段を検討してほしいと伝えてある。
- ・本日、いただいた貴重なご意見は、今後、検討する際の参考とするよう教育委員会にお伝えさせていただく。

【意見】

- ・私の子ども二人は、不適切保育のあった保育園の卒園児である。
- ・市長におかれでは、第三者委員会の設置とタウンミーティングの開催について決断いただき感謝申し上げる。
- ・本件の問題がここまで大きくなったのは、一番は保育園事業者であるが、市ほいく課の運営状況も影響している。
- ・なぜ、大和市側の保護者説明会がなく、今日の今日まで謝罪もないのか。
- ・市長には大和駅で直接お会いしたことがあり、その時に保護者説明会があるからぜひ来てほしいと言われたが、市長が参加することはなかった。
- ・市長の公務が忙しいことは理解しているが、私としては1分でもいいから顔を出して一言ほしかった。
- ・この子たちを連れて6月19日の市議会も傍聴した。
- ・その時の市側の答弁で「保護者に丁寧な説明をしている」と言っていたが、実際、ほいく課に問い合わせをしても「お答えできない」と言われるだけである。
- ・今、監査が行われていると思うが、そのことを聞いても「精査中でお答えできない」「監査の内容は保護者側に伝えられない」と言われた。
- ・保護者への丁寧な説明はいつ行われるのか、不信感しかない。
- ・隣の横浜市で不適切保育があると、監査内容が市のホームページで公開され横浜市民だけでなく全国民が閲覧できるようになっている。
- ・私は適切な保育が行われるものと信じて高い保育料を払ってきたのであり、不適切保育のために払ったのではない。
- ・保育料の返還など、形ある責任を取ってもらいたい。
- ・大和市が子育て王国を掲げるのであれば、不適切保育の防止を徹底してほしい。
- ・第三者委員会がいつどのように運営されるのか、再発防止策はどのようなもののかなど、情報を皆が閲覧できるようしっかりと開示してもらいたい。

【市長】

- ・今回の不適切保育に関しては、お子様や保護者の皆様に対して市長として心から申し訳なく思っている。

- ・ 第三者委員会を立ち上げ、今まさに対応を進めているところであり、所管課としても現段階で詳細をお伝えできることはご理解いただきたい。
- ・ 第三者委員会の報告書など、しっかりと情報を公開していく。
- ・ 当該事業者に対する監査と指導も厳格に行っていく。
- ・ 今回の件は、法やガイドラインに沿って対応した結果ではあるが、私だけでなく、副市長、部長に情報が上がってこなかつたことを重く受け止めており、内部の報告体制について見直しを図った。
- ・ いただいたご意見を所管課と共有し、今後の再発防止に活かしていく。

【意見】

- ・ 児童クラブについて、面談など学校行事がある時間は就労していないと見做されて預けることができないので、保護者のどちらかが仕事を休んで面倒をみることになる。
- ・ 児童クラブからは、学校の図書室が使えるとの案内があるが、そこで待つことができない子もいる。
- ・ 横浜市は民間が運営しているので、こういったところも柔軟に対応している。
- ・ 大和市にも柔軟な対応をお願いしたい。

【市長】

- ・ 児童クラブの運営に関して、様々なご意見をいただいている。
- ・ 本日のご意見も含め、すべてにお応えできるわけではないが、少しでも利用しやすくなつたと思っていただけるよう改善に努めていく。

【意見】

- ・ 一時保育の申込は園に電話しなければならない。
- ・ 保育士や事務員の手を煩わせてしまうので、インターネットなどで申込できるようになると助かるので、ご検討いただきたい。

【市長】

- ・ 大和市のデジタル化については、多くの市民が関係する部分から段階的にDXを進めている状況である。
- ・ 今年度は手書きでやっていた児童クラブの手続きをデジタル化する。
- ・ 一時保育手続きのデジタル化も課題と捉えており、ご意見を所管課と共有し今後の参考にさせていただく。

【意見】

- ・ やまと24時間健康相談について、救急車を呼ぶか迷ったら相談するように広報されている。
- ・ 今までに4回利用したことがあるのだが、相談が必要な状況であるため、かなり焦って電話することになる。
- ・ 電話はすぐにつながらず、やっとつながったと思ったら「どこにお住まいですか」「あなたは何歳代ですか」と聞かれることが疑問である。

- ・ こちらが救急で診てもらえる病院を聞いても「調べます」と言われ、ネットで調べた方が早いと思い、こちらから相談を打ち切ったこともある。
- ・ 相談員の質をあげるべきではないか。

【市長】

- ・ 24時間健康相談に限らず、緊急時の電話応対は相手を落ち着かせる意味もあって住所や年齢などから聞くことが多い。
- ・ ご不快な思いをさせてしまったことは大変恐縮だが、相談者の焦りを落ち着かせることが必要なこともご理解いただきたい。
- ・ 相談を受ける側は、話し方や言葉の選び方が重要であり、こういう場面で寄り添っていることが伝わるよう指導していく。

【市長指示】

- ・ 特になし。

【回付】※ 組織順

- ・ 市長室 広報課、危機管理課
- ・ 未来政策部 総合政策課、財政課、マーケティング課、デジタル戦略課
- ・ 市民経済・にぎわい創出部 つながり推進課
- ・ 環境共生部 みどり公園課
- ・ あんしん福祉部 健康づくり推進課、障がい福祉課
- ・ こども部 ほいく課、こども青少年みらい課
- ・ まちづくり部 まちづくり総務課
- ・ 消防本部 救急救命課、消防署 管理課
- ・ 教育部 教育総務課、指導室